

文教厚生常任委員会報告

平成 26 年 6 月 10 日
委員長 芝尾 郁恵

文教厚生委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際しましては、平成 26 年 5 月 8 日と 12 日に、教育長はじめ関係部課長に出席を求め委員会を開催いたしました。

保健福祉部 隣保館

地域交流促進事業のひだまりパスポートは、春休み期間に参加児童生徒60名で留学生などを通じ、台湾、香港、ベルギーなどの歴史、文化、言葉等を学習。2月16日に開催した、ひだまり館まつりは、参加者約150名。生き生き音楽校受講者の音楽発表など、笑いあり涙ありのプログラムで大盛況だった。

平成25年度は、就労サポート講座事業を計11講座開催、約100名の受講者があり、その内21名が就労出来た。スタンドアローン支援事業は、参加者164名、計70回を開催した。3次の参加者の内、中学3年生23名全員が高校に進学できた。今年度は、社会体験をふんだんに取り入れ、できるだけ自分の行きたい高校にチャレンジできるような形で取り組みたい。

今年度、生き生き音楽校は、年間23回に増やす予定。就労支援サポート講座事業は、各講座ステップアップ方式で学べるよう、4講座ずつを予定。スタンドアローン支援事業は、7月24日より開始、家庭学習支援を中心に、社会体験学習を積極的に実施する予定で現在計画中。

委員から、スタンドアローン事業は、参加者も多く評価できる事業だが、ボトムアップ事業の最終年度となる。この事業が一般事業化されるためにどういう点をブラッシュアップしていくかの問いに、ボトムアップ最終年だが終わらせるつもりはない。これまでの成果、課題をどんな形にするかはまだ不透明な部分もあるが、これから課内で協議しながら9月か10月には今後の方針を決めていきたい。

介護支援課

介護予防係から、高齢者外出促進事業は、啓発方法等を変え事業が活性化され、多くの外出を促せた。介護支援ボランティア事業も、11事業所、登録者107人と認知度が高くなり実績も伸びている。いきいきセンターゆいの今年度の取り組みとして、火曜を市民と活動団体の出会いの場、結ぶ曜日とし、木曜を啓発活動、広げる曜日とし、よりゆいの目的にあった内容に変更していく予定。

包括支援センター係から、2月27日に開催の成年後見制度と市民後見人の講座は、民生委員40人を含む81人の参加があった。6月下旬頃に、市民後見推進検討委員会を発足する予定。ひとり暮らし高齢者等の見守り活動に関する協定を、セブンイレブンなど新たに6つの事業所と締結した。介護保険係から、高齢化率は前年比1.33ポイント増の、21.71%。要介護、要支援認定者数は、前年同月比78人増の1,873人となった。第6期目となる高齢者福祉計画、介護保険事業計画は、被保険者など委員10人で組織された介護保険運営協議会が年7、8回の協議をし、1月から2月にパブリックコメントを実施予定。現在、国で法改正が審議中、改正案をもとに策定作業を進めていくことになる。

委員から、社会的資源の有効活用の視点からも、ゆいの宿泊施設利用について新たな計画はないのか。徘徊高齢者捜索メールの具体的活用の進捗は等の問いに、ゆいの宿泊はルールの中にどれだけ割り込んでいくか研究が必要。有効利用を総体で考える。県の防災メールまもるく

んが、4月から行方不明者の写真まで掲載できるメールになった。今後、総務課や県と連携を図る。今は、総務課に連絡して活用するかたち。

予防健診課

健康づくり係から、肺炎球菌の予防接種は今年度から定期接種となり増加が予測されるなど、各種予防接種の3カ年の実績等について詳細な説明を受けた。ヘルスアップぷらんの推進について、地域が主体的に健康づくりを行うモデル地区として、舞の里2丁目が昨年11月に作品展と合同で健康測定会を実施。他地域まで波及効果があった。今年度、予防健診課に所属する保健師、管理栄養士等を8小学校区4ブロックに分け、地域担当制をとる。2小学校区に対して3人体制で地域主体での健康づくり活動の相談、支援にあたり、ヘルス・ステーション設置を目指す。新型インフルエンザ等対策行動計画が完成。今後、具体的な対策マニュアル等を策定する。健診指導係から、特定健診受診率は1ポイント増の25%をみこむ。今年度は、生活保護世帯、非課税世帯のがん検診を無料にする。

委員から、小中学校での性教育に予防健診課の保健師等と連携して取り組む考えはの問いに、積極的に関わることは現状では難しいが、今後、学校と繋がりを持って取り組んでいきたい。

福祉課

社会係から、災害時要援護対象者数4,404人中同意者3,378人。同意率76.7%となった。県主催の「個別計画策定支援ワークショップ」の最終回の避難訓練には、古賀東区230人、新原区120人が参加した。臨時福祉給付金については、支給対象者約12,200人。7,200世帯を見込む。7月以降に対象者に申請書を発送。申請期間は年末までの半年間。原則、口座振り込みを予定。広報6月号で周知する。障害者福祉係から、平成26年3月末の障害者手帳交付状況は、身体障害2,042人、療育370人、精神障害290人で計2,702人。今年度末までに、障害者福祉計画を策定。7、8、9月でアンケートの作成、発行、発送、回収、分析を行い、10月から古賀市障害者施策推進協議会を開催し、審議、3月に答申を受ける予定。保護係から、平成25年度の生活保護の状況は、受給者数が月平均697人、473世帯。内訳は高齢世帯221、母子世帯37などで、生活保護率は月平均11.9パーミル、相談件数は月平均28件、保護開始件数は月平均5件程度となる。庁内18課22係で構成する生活困窮者自立支援制度内部検討委員会を立ちあげ市の実情に見合う制度実施を検討。

委員から、災害時要援護者の転入時の名簿の把握、安心安全キットの配布方法についての問いに、住民票の異動があれば福祉課にも連絡がくるが、民生委員の力を借りて把握することになる。安心安全キットは一人分ずつの情報を納める。委員から、障がい者の就労を真に支援するためには、法定雇用率など古賀市単独のデータを出し、事業者に啓発、達成した事業所を表彰するなど、社会全体で進めてほしい。また、障害者優先調達推進計画も早急にとの意見が出ました。

子育て支援課

こども係から、保育所入所者数は1,047名、定員増により充足率は102.65%に減少。舞の里の新設保育所については、5月13日に説明会を開催。子ども・子育て会議については、5月下旬にニーズ調査の結果を公表し、計画の趣旨、課題、基本理念について提案、意見を伺う。7月中旬に素案の検討、8月上旬の第4回目の会議で答申案の意見を伺い、8月下旬には答申書を完成させたい。9月下旬から10月下旬にパブリックコメントを行い、11月下旬に最終報告を行う予定。子育て世帯の臨時特例給付金は、児童1人につき1万円給付。家庭支援係から、平成25年度のつどいの広場登録者は799人、昨年度比118%と増加したが、利用者は予防接種が医療機関での接種に変更されたためか387人減少した。乳幼児全戸訪問の実績はほぼ100%の518人。

出生数は前年度より1割減少した。こども発達ルームの利用者数は、前年比12%増の432人。今年から執務室が1階に移動、家庭支援係と共に業務を行う。中学校を利用しての子育てサロンを実施した。今後の中学生の参加を期待。子育て応援サポーター養成事業は、予防健診課とプロジェクトチームを結成して事業にあたり全8回の養成講座を予定。現在18人の応募。

委員より、保育に欠ける児童の保護者の就労時間の設定と今後の変更予定、休日保育のシステムはとの問いに、週3日以上1日5時間以上勤務など、月60時間が目安、今後、子ども・子育て会議で検討する。休日保育は、登録制にするなど趣旨にあう制度設計を詰めている。

教育部の所管事務調査の冒頭に、教育長より「平成26年度古賀市教育行政の目標と主要施策」について、詳細な説明を受けました。

教育総務課

青柳小学校プール改修工事、千鳥小学校プール防水工事、教室内扇風機設置工事、花鶴小学校水道管改修工事等は発注済みで、全て10月末までには工事終了予定。平成26年度予算の工事として、花鶴小学校の学童整備工事、教室改修工事、校舎増築工事、古賀東小の屋上防水工事、中学校の消防設備改修工事等6月から10月にかけて発注予定。リーパスプラザの天井耐震改修の設計委託は5月発注予定。

委員より、PM2.5の問題などを考えると、今後中学校にはエアコンの設置を検討すべきではの問いに、全小学校に扇風機を設置後、気象状況などを検証し検討していく。新しい研修棟の維持管理コストはどれくらい増加するのかの問いに、個別の機械については検討したがトータルは出していない。生涯学習センターの障がい者トイレが1階にしかないのは問題、また、固定の託児室も必要ではの問いに、2階にも多目的トイレを設置するが3階については協議検討する。託児室については従来のように和室や小部屋を託児施設として利用していきたい。

生涯学習推進課

社会教育推進係から、3月末、第2次生涯学習基本計画が完成。社会教育委員の平成25年度の提言として「古賀市生涯学習笑顔のつどい」を6月15日リーパスプラザ大ホールで開催予定。今回のつどいは、第2次基本計画の内容を広く市民に知ってもらう場と捉え、十分な周知、啓発を行う。文化・スポーツ支援係から、3月21日に実施した「古賀を歩こう」は、参加者689人（うち市内445人）。今回親子体験を取り入れたことで子どもと若い保護者が急増した。ロビーコンサートは今年度から文化協会へ委託、サロンコンサートとして研修棟で10回実施予定。クロスパルコがの料金を消費税増に伴い変更した。市民活動支援センター係から、市民活動のための公募型補助金や助成金の申請の仕方など、講師によるセミナーを5月から3回開催予定。公民館係から、舞台袖幕ほか改修工事と本館通用口ほか改修工事を予定。舞台袖幕工事は舞台使用の少ない7月から8月に予定。

委員から、社会教育委員の提言に青年層へのアプローチとあるがどのように考えてるかの問いに、笑顔のつどいのアトラクションで女子高生バンドの演奏を予定している。クロスパルコがのランニングマシンが2台故障したままだがどういう対応をしているのかの問いに、報告は受けているがランニングマシンはコナミの備品なので早急な対応を指導する。

学校教育課

平成25年度不登校児童生徒数は56名。一昨年に比べ20名増加。家庭環境に起因することも多く、課題解決のため、スクールソーシャルワーカーを配置、成果をあげている。古賀西小学校に病弱クラスが新設され特別支援学級が4クラスに。舞の里小学校に自閉情緒クラスが新設、2クラスになった。特別支援教育支援は11小中学校で600時間増やし6,300時間配置した。古賀

市高等学校等進学支援金支給状況は公立34名、私立29名、合計63名に支給した。

委員から、経済状況が厳しい保護者も増え就学支援の申請者も増加傾向、保護者の負担軽減策をどう考えるかとの問いに、今年度、古賀東中学校が校長の判断で補助教材費の負担軽減に取り組んでいるが、全校一斉には難しい。今後も保護者負担軽減に向け指示したい。

サンフレアこが

文化財係から、船原古墳遺物埋納坑の発掘調査について、豪華な遺物が古墳とそぐわないという点から、5月から10月まで再調査を予定。公開活用事業として、3次元レーザーの観測データを用い、遺物の出土状況の復元模型作成を行う。また、パンフレット作成や9月から10月に市民への普及を目的に写真パネル展を開催予定。歴史資料館係から、自然史歴史講座は、軍師官兵衛、船原古墳遺物埋納坑、歴史資料館開館20周年にちなんだ5回の講座を予定。企画展として郷土出身の特撮映画美術監督として活躍した井上泰幸氏を紹介する企画展を予定。図書館係から、4月19、20日に図書館まつりを開催。参加者181人。平成25年度のレファレンスカウンターの年間利用者件数は4,698件、月平均391件。レファレンスカウンターの設置により利用者がふえた。6月6日と27日に読書ボランティア入門講座を開催予定。

委員から、歴史資料館見学受け入れの学校、対象の学年、内容についての問いに、青柳小学校など市内5つの小学校の3年生が見学と映像学習で昔の暮らしを学ぶ。図書館に出向けない方に図書を届ける取り組みについての問いに、現在、視覚障害者の方の録音図書サービスを実施しているが、その他の障がい者への配達については今後検討する。

青少年育成課

青少年育成係から、2月15日に開催した青少年育成市民会議の少年少女の主張作文発表、表彰は、初めて議場を使つての実施で、発表した子ども達や保護者、主催者から喜びの声が聞かれた。平成26年度の事業計画として、本年度も地域つながりあいさつ運動に引き続き取り組む。今年は、各団体をお願いして、学校の正門で一斉にあいさつに取り組むことなどを考えている。日本の次世代リーダー養成塾は、2名の枠に対し2名の応募があり、面接等の結果2名を決定。少年センターでは、相談員の体制の充実を図り、多様化する相談に対応している。

委員から、アンビシャス広場プラス学校を拠点とした、近くてみんなが集える広場、居場所が必要ではの問いに、できれば地域コミュニティを通して学校と連携した形でお願いしたい。委員より、コスモックスの利用者も、当然、近隣に住む子ども達の利用が多い、せめて中学校区に1つの居場所が必要との意見がありました。

給食センター

古賀産農産物の使用状況は、42.9%と前年とほぼ同率。食器の破損状況については、平成23年度の破損率11.8%、24年度11.3%、25年度は10.2%と年々減ってはいるが、1,872枚破損した。今後も減らす努力を続ける。平成25年度事業のラッピング配送車は、走る広告塔として市民にも好評。平成26年度は、給食に興味を持ってもらう目的で、給食センターに歩いて見学に来られない小学校のため3校分のバスの借り上げの予算をとった。食育を広げる努力をする。4月より消費税増等に伴い、給食費を値上げした。小学校1食18円アップの256円、中学校21円アップの299円となった。

委員から、給食費値上げで滞納を危惧するが現状はの問いに、古賀市の滞納率はここ数年1%前後と近隣市町村に比べ低い。また委員より、センター方式で難しいとは思いますが栄養士が保護者や子ども達に給食について話す機会を持つことは食育を推進する上でも効果的との意見がだされました。

以上、議会閉会中の調査事項として、付託を受けておりました調査の概要報告を終わります。